

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	教育局総務課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2611
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	小・中学校施設天井等落下防止対策事業		事業期間	平成 28年度～平成 30年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童・生徒の安全を確保するため、屋内運動場等の天井、照明器具、ガラスなどの非構造部材の耐震化を計画的に進める。26年度に1棟の天井撤去・改修を実施、28年度までに19校の体育館・柔剣道場・校舎の改修工事を実施しており、残る6校については、30年度までに改修工事を実施する予定としている。
-------	---

29年度概要	非構造部材 大規模空間天井等撤去改修工事実施設計等6校（香南中、国分寺中、協和中、亀草小、花園小、川東小） 非構造部材 大規模空間天井等撤去改修工事6校（香南中、国分寺中、協和中、亀草小、花園小、川東小）
--------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	小学校、中学校
意図（どのような状態にしたいか）	耐震性を確保した安全・安心な学校施設を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
非構造部材等改修数（全26棟）	棟			19	7	26

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	小・中学校非構造部材耐震化率	%	目標値			70	96	96
			実績値			70		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 学校施設の安全性の確保、また、災害時の避難場所としての機能整備のため、国の有利な財源を活用し、非構造部材の耐震化工事を実施した。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	2,247,591	2,545,806	656,103	357,145
（事業費）	[円]	2,240,210	2,538,129	653,748	354,790
（職員人件費）	[円]	7,381	7,677	2,355	2,355

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

避難所でもある学校施設の耐震化は防災対策として重要であり、計画的かつ早期に耐震化を完了する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

国庫補助金を活用し、速やかに事業を完了させる必要がある。